

新報編輯部に於ける編輯費(月給)三千五百圓に對しては、  
 一、編輯費の増減は、編輯部員の勤惰に依りて変動し、其の  
 二、編輯費の増減は、編輯部員の勤惰に依りて変動し、其の  
 三、編輯費の増減は、編輯部員の勤惰に依りて変動し、其の  
 四、編輯費の増減は、編輯部員の勤惰に依りて変動し、其の  
 五、編輯費の増減は、編輯部員の勤惰に依りて変動し、其の  
 六、編輯費の増減は、編輯部員の勤惰に依りて変動し、其の  
 七、編輯費の増減は、編輯部員の勤惰に依りて変動し、其の  
 八、編輯費の増減は、編輯部員の勤惰に依りて変動し、其の  
 九、編輯費の増減は、編輯部員の勤惰に依りて変動し、其の  
 十、編輯費の増減は、編輯部員の勤惰に依りて変動し、其の  
 十一、編輯費の増減は、編輯部員の勤惰に依りて変動し、其の  
 十二、編輯費の増減は、編輯部員の勤惰に依りて変動し、其の  
 十三、編輯費の増減は、編輯部員の勤惰に依りて変動し、其の  
 十四、編輯費の増減は、編輯部員の勤惰に依りて変動し、其の  
 十五、編輯費の増減は、編輯部員の勤惰に依りて変動し、其の  
 十六、編輯費の増減は、編輯部員の勤惰に依りて変動し、其の  
 十七、編輯費の増減は、編輯部員の勤惰に依りて変動し、其の  
 十八、編輯費の増減は、編輯部員の勤惰に依りて変動し、其の  
 十九、編輯費の増減は、編輯部員の勤惰に依りて変動し、其の  
 二十、編輯費の増減は、編輯部員の勤惰に依りて変動し、其の

新報編輯部員古屋出張所  
日誌

財團協國會名古屋出張所

三、争議費用全額二百五十圓  
 四、歸國旅費(三人分)二十八圓四十八錢  
 合計 二千六百四十四圓六十四錢也  
 この要求に對して工場側は  
 一、は工場内規に依る最高額でありこれ以上増額不可能  
 二、は不可能  
 三、については考考慮しやう  
 かくて二千六百餘圓の要求に對して五百六十圓支出と云ふ大なる間  
 隔を有する對立の儘六時五十分休憩  
 午后七時五十五分再開し工場側は「一切を含めて金一封で御承願  
 ひたい」と申出たので被試首者は其の内容發表を求め、工場側は  
 七百圓と發表し被試首者も更に協議した結果工場側に於いて妥協の  
 意志ありとして二千圓迄減額要求する旨を述べ此處に於いて斡旋者  
 は更に協議をなし工場側に考慮を求めたところ工場側に於いては斡  
 旋者に敬意を表する意味に於いて八百圓まで増額する旨を回答した  
 が八百圓對二百圓の對立の儘歩み寄り不能と見て更に再會を期する